

# 議会だより

2019年4月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



新しい門出を祝う春が到来するとともに、桜や草花が元気に芽吹き、清々しい季節となりました。

皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私も、保育園や小中学校の卒業・入学式並びに町内会・各種団体の総会に出席するなど充実した日々を過ごしております。

さて、鹿屋市議会3月定例会は、2月21日から3月20日までの28日間の会期で開催されました。

中西市長は、市民の協力で将来に希望をもって安心して暮らせる「ぬくもりと豊かさを実感できる、**明るい未来づくり**」の取り組みに、ご理解とご協力を得て市政運営ができた。

5月から新元号になるがIT化やグローバル化の進む中、価値観やライフスタイルの多様化など、時代により遅れないタイムリーな情報収集、果敢な取り組む姿勢を表明すると共に、市政運営の羅針盤となる第二次総合計画【**人が元気、まちが元気、未来につながる健康都市、かのや**】を将来都市像として策定し、スタートさせるための施政方針及び予算編成要旨を提案した。

予算議案15件、条例議案7件、その他議案14件、人事議案1件、報告2件、諮問1件、陳情1件、意見書3件が提出され慎重審議されました。

一般質問に代表(5会派)、個人(4人)が登壇し、多岐にわたり当局見解を質しました。

私共の政経クラブ(梶原・別府込・田辺・吉岡議員)は、認知症の有症者が増え、徘徊による行方不明者や高齢者の虐待など暗いニュースがある中、高度化、複雑化する保健福祉政策の一環として「**高齢者対策監**」の配置や基幹型地域包括支援センターの強化は時機を得たものと評価し、① **天皇陛下の退位と皇太子の即位に伴う本市の対応(4項目)**、② **上下水道事業(10項目)**、③ **総合計画及び施策推進(10項目)**にわたり、平成最後の代表質問を行いました。(2～3Pを参照ください)

そして、私がライフワークとしている都市計画道路「**寿大通り線の整備**」については、都市計画の変更手続きが終わり、整備に向けての用地交渉が進められます。

また、雨水流出抑制施設が「**農業研修センター駐車場と寿4丁目**」に設置されます。

さらに、教室不足や学習環境の整備として鹿屋女子高校、鹿屋東中、串良中の本体工事に、祓川小・大黒小・下名小・寿北小・笠野原小・高隈中・鹿屋東の空調設置工事が取り組みされ、H.33年度までに全小中学校が完了予定です。



# 平成31年3月議会一般(代表)質問項目

## 1. 天皇陛下の退位と皇太子殿下の即位に伴う本市の対応について

(1) 吾平山上陵を中心とした観光・地域振興による、交流人口増を図るべきと考えるが見解を示されたい。

(答弁) 吾平山上陵周遊活性化実行委員会を設立し、魅力ある観光農園づくりや情報発信の方法など検討している。また、講演会や茶話会、SNSによる情報発信すると共に黒羽子観光農園、吾平物産館、コミュニティ協議会、広域公園など連携を図る。

大隅縦貫道・吾平道路(4km)の進捗状況は、用地買収70%、3月から鶴峰小学校周辺を工事発注予定である。

(2) 市民こぞってお祝いするにあたり、皇位継承祝賀行事は考えられないか。また、天皇陛下及び皇族の慶弔時における、今までの本市の対応状況を示されたい。

(答弁) 国旗掲揚並びに記帳所の設置など市民が祝意を表わす場を提供する。ホームページ掲載などにより広く周知する。

(3) 皇太子殿下が新天皇に即位される5月1日が祝日となり10連休となるが、本市の医療や保育サービス等の提供体制はどのようになるか。また、市民生活への影響や想定される課題などを示されたい。

(答弁) 医師会などの関係機関と協議し医療サービスの確保に努める。「休日保育」「一時預かり事業」の施設で実施し、新たな補助も検討している。市民生活への影響や課題を見極め、必要な行政サービスを提供する。

(4) 新元号の公表は、4月1日となったが情報システムや庁内の取組みの対応について示されたい。

(答弁) 窓口業務やコンビニ交付など情報システム変更を済ませ点検中、条例・例規など改正が必要分は準備を進めている。



代表質問スナップ

## 2. 上下水道事業について

(1) 今回の水道法改正の概要・ポイントを示されたい。また、コンセッション方式の導入などによる民間企業参入についての見解を示されたい。さらに、本市の水道事業において民間企業参入を考えているのか示されたい。

(答弁) 将来にわたり、安全な水の安定供給のため、水道の基盤強化から責務の明確化、広域連携の推進など5項目が改正された。「コンセッション方式」による民間企業参入は考えていない。

(2) 国は、経営基盤の強化と経営効率化の推進を図る方策として広域化を求めているが、本市の考え方を示されたい。

(答弁) 4市5町で財政・施設整備状況、料金格差などの課題を検討したが現時点での広域化については考えていない。

(3) 全国的に水道施設の老朽化が危惧されている中、耐震化などの水道施設の管理状況を具体的に示されたい。

(答弁) 法定耐用年数40年を超えた水道管は18.2%、点検・管理は漏水調査などと併せて毎年実施、耐震化は基幹管路を優先的に実施し全国平均値を上回っている。

(4) 集中監視・遠隔操作システムの導入は考えられないか。

(答弁) 上下水道部、上田崎ポンプ場、共心配水池で集中監視し、水道施設の52か所を24時間体制で監視実施している。

(5) 本市の現時点における業務委託の現状並びに課題及び委託拡大への計画を示されたい。

(答弁) 効率化・合理化の観点からメーター検診、開閉栓、漏水修繕及び吾平浄水場の維持管理を委託、今後は配水管布設替え工事設計及び柳浄水場の民間委託を計画している。

(6) 浄水施設や配水池などの環境整備に係る、今後の計画を示されたい。

(答弁) フェンス、有刺鉄線、施錠など侵入防止対策をとっている、今後は民間警備委託や監視カメラなどの導入によるセキュリティ対策に努める。水源涵養林は周辺の山林23ヘクタールを拡大する。新規水源調査として平成31年度に5か所を計画している。

(7) 柳水道史料館の利用状況を示されたい。また、施設の拡充・整備は考えられないか。

(答弁) 小学4年生のカリキュラムにあることからH.29年度644人が学習の場として利用、水道資料館の内壁・天井の塗装や除湿機の設置、歴史年表の更新など実施してきた、今後も施設の充実に努めたい。

(8) 公共下水道整備区域における未接続人口及び戸数の割合を示されたい。

(答弁) 整備区域内の人口は17,967人、水洗率78.1%、接続率88.3%

(9) 公共下水道整備区域である札元地区バイパス道路北側について見直しは考えていないか。

(答弁) 未設備地区を計画的に進め、2023年度を整備完了としていることから考えていない。

(10) 小型浄化槽のうち単独浄化槽から合併浄化槽の切り替え状況を示されたい。

(答弁) H.27年度263基、H.28年度258基、H.29年度267基切り替えている。

今後も、広報誌やホームページにより、周知啓発を図り生活環境及び水資源の保全に努めたい。



水道資料館(柳浄水場)

## 3. 鹿屋市総合計画及び施策推進について

(1) 基本構想の目指すべきものは何か。

(答弁) 市民一人一人がぬくもりと豊かさを実感でき、「ひとが元気、まちが元気、未来につながる健康都市かのや」をまちづくりの将来像として設定した。



- (2) 行政としての責務をどのように考えているか。また、その精神をもって構想も構築されているか。
- (答弁) 市民に満足してもらえらるまちづくりとして、地域に貢献、仕事にチャレンジ、未来を想像した課題解決、仕事の説明・説得・納得の責任があることを日頃から伝えている。しっかりと肝に銘じて業務に取り組んでいると思う。
- (3) 少子高齢化の進展に伴う、社会保障費の増大や普通交付税の合併特例措置が2020年度で終了し、財政運営は一層の厳しさを増してくると想定されるが財源確保など、将来の財政見込みをどのように捉えているか示されたい。
- (答弁) 合併算定替えの段階的な縮減、社会保障に係る経費増、大型事業の実施が見込められる。歳出においては、障害福祉サービスの充実や少子高齢化に伴う経費増、幼児教育の無償化などにより、H.31年度154億円、H.32年度160億円、H.33年度162億円が見込まれ、今後さらに増加すると予想される。
- また、北部学校給食センター、スポーツ施設再配置、公共施設やインフラの老朽化対策など財源確保対策が必要。そのためにも行財政改革の徹底に取り組み、将来にわたっての持続可能な規律ある財政運営に努める。
- (4) 防災・減災・国土強靱化対策及び緊急自然災害防止対策に係る事業を示されたい。
- (答弁) 「大規模な浸水、土砂災害、地震、津波などによる被害防止・最小化」や「救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保」に関する事業が計画されている。
- 始良川、肝付川、串良川の河道堀削や樹木伐採など事業化、東自動車道や国道220号の法面改修や冠水対策、市内4か所の県道の法面改修が行われる。
- (5) 地域コミュニティ協議会の未設置地域へのアプローチ及び町内会との役割・連携をどのように位置づけて対応し推進するのか示されたい。
- (答弁) 吾平・高隈地区に設置し、活動中、現在、串良校区で準備委員会が設立され、細山田校区においても設立にむけた話し合いが進められている。
- (6) これまでの総合計画の実施計画は、2年～3年間であったが、今回では、毎年作成となった根拠や実績・進行管理などを市民に知らせる市政報告会などの開催は考えていないか。また、若者の積極的な参加を促す必要を考えると、どのような対応をするのか。
- (答弁) 「鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねており、有識者委員会を開き、取り組み状況や事業の効果検証を行いホームページで公開、各種団体やあらゆる機会を通じて説明・報告する。
- 若者の柔軟な発想や想像力は、市政運営に欠かせないことから多くの意見を聞く場を作る。
- (7) スポーツによる交流の推進での地域活性化につなげるためにも、施設再配置計画を計画期間内に完了することも必要である。進捗状況及び今後の計画を示されたい。また、障害者スポーツの現状及び今後の計画を示されたい。
- (答弁) 平和公園屋内練習場、輝北運動場グラウンド改修、中央公園弓道場、平和公園野球場、武道館空調設備、高隈艇庫トイレシャワー棟、かのやグラウンド・ゴルフ場トイレなどの整備を概ね計画どおり実施。
- H.30年度は高隈第一艇庫改築工事、串良平和アリーナの照明、床研磨を整備した。
- テニスコートの整備として鹿屋中央公園の屋外ステージ及び多目的グラウンド場に計画していたが、地元住民や利用者から憩いの場として現状維持の声から競技団体と協議を行い、整備充実を検討する。障害者スポーツの施設としてバリアフリー化、多目的トイレ、駐車場の整備を実施。H.31年度は車椅子導入を計画している。
- (8) 担い手の高齢化や労働力不足が深刻化する中、ロボット技術、ICTを活用したスマート農林水産業が果たす役割は大きいと考える、今後どのように推進していくのか。
- (答弁) ICT技術を活用した超省力化・高品質生産を図るために「かのや型スマート農業研究会」を立ち上げ、農業推進方針を策定する。施設園芸の複合環境制御技術、水稲におけるドローンを活用した防除。畜産部門においては発情発見装置や分娩監視システム、繁殖雌牛台帳の電子化やセンサー機器を導入。林業部門においては航空レーザ計測などICT技術を活用した機械の導入により普及推進しつつある。水産業分野においては見える化やデータ化養殖魚への自動給餌システム開発・普及を図る。
- (9) 企業誘致の推進は、人口・雇用増・産業振興及び税収増につながることから積極果敢に取り組まなければならない課題である。その基盤になる新たな工業団地の整備を位置付けているが場所の選定などについて現状と今後の取り組みを示されたい。
- (答弁) 若年層の人口流出抑制、東九州自動車道など交通アクセスの向上、進出希望情報なども踏まえ、市民所得の向上、地域活性化のためにも企業誘致は重要な施策であることから、工業用地整備可能性調査を実施し、複数のエリアの可能性について評価を行っている。
- (10) 次代を担う児童の安全・安心な居場所を確保するため、放課後子ども総合プランの推進は必要であり、本市では放課後児童クラブの未設置校区が7か所ある。小学校の余裕教室などの活用による放課後子ども教室を含めた放課後子ども総合プランの計画推進について示されたい。また、鹿屋寺子屋事業の現状及び課題並びに今後の計画を示されたい。
- (答弁) 現在、17小学校校区に29児童クラブがあり、「鹿屋寺子屋事業」として11か所で展開している。
- 来年度は東原小学校区を含め6か所、平成32年度までに全ての小学校校区で「鹿屋寺子屋事業」を実施するが町内会の規模や児童数を勘案し、学校の余裕教室を活用して80か所程度に拡大する。

**\* 紙面の都合上、全部記載できませんので、市の「ホームページの本議会中継」や「議会だより」をご覧ください。**



# 平成31年度一般会計当初予算 540億9,200万円の概要

予算編成は、「ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり」の実現に向けて、市政運営の4つの戦略に沿った施策を計画的・重点的に推進する予算として編成されています。

## 戦略1 雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり・・・産業振興 【 予算額 57億2,688万3千円 】

- (1) 農林水産物直売所整備支援事業・・・427,053千円 (JAきもつき)
- (2) スマート農業推進事業・・・8,467千円 (ドローンによる農薬散布など)
- (3) 畑作産地力向上事業・・・9,230千円 (紅はるかの生産強化など)
- (4) 日本一和牛ブランド確立事業・・・61,096千円 (施設整理など)
- (5) 戦跡保存活用事業・・・15,282千円 (串良基地跡の雨水流入防止など)
- \*主な事業 企業誘致・サポート推進事業・・・229,488千円  
C&K凱旋ライブ事業・・・1,000千円 など



農林水産物直売所

## 戦略2 笑顔あふれる安心・安全なまちづくり・・・医療福祉 【 予算額 20億8,257万1千円 】

- (1) 子育て世帯サポート事業・・・38,381千円 (入学準備金の拡充)
- (2) 産婦健康診査事業・・・10,085千円
- (3) 子育て環境施設整備事業・・・480,165千円 (保育所などの施設整備)
- (4) 訪問入浴車更新助成事業・・・7,137千円 (社会福祉協議会)
- \*主な事業 支え愛ファミリー住宅改修応援事業・・・40,700千円  
みんなで支え合う地域づくり推進事業・・・23,454千円 など



訪問入浴車更新

## 戦略3 心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり・・・教育文化 【 予算額 29億8,030万1千円 】

- (1) 鹿屋女子高施設整備事業・・・1,681,152千円 (新校舎・多目的ホールなど)
- (2) 学校環境整備事業・・・513,398千円 (校舎・空調設置工事)
- (3) ホストタウン事業・・・14,393千円
- (4) 国際交流推進事業・・・13,560千円 (交流イベント10月開催)
- (5) 文化のまち鹿屋魅力アップ事業・・・8,347千円 (ブックフェスタ11月開催など)
- (6) かごしま国体リハーサル大会実施事業・・・59,228千円
- (7) みんなで楽しむスポーツライフ推進事業・・・20,389千円
- \*主な事業 鹿屋寺小屋事業・・・6,249千円  
岡崎古墳群整備事業・・・2,086千円 など



寿北小新校舎

## 戦略4 生き生きと快適に暮らせるまちづくり・・・生活環境 【 予算額 35億5,216万4千円 】

- (1) 総合交通対策事業・・・133,067千円 (寿中央バス停上屋設置など)
- (2) 防災・減災対策事業・・・296,220千円 (雨水排水対策など)
- (3) 防犯対策事業・・・52,816千円 (LED化・防犯カメラ設置など)
- (4) 畜産臭気対策事業・・・5,484千円 (消臭資材など)
- (5) 災害からの復興記念事業・・・4,019千円 (復興祭10月開催)
- \*主な事業 情報インフラ整備事業・・・298,000千円  
交通安全施設整備事業・・・53,387千円 など



LED灯への取替

### 平成31年度 鹿屋市当初予算総括表

(単位千円)

区分	予算額	区分	予算額
一般会計	54,092,000	介護保険事業 (特別会計)	11,095,981
国民健康保険事業 (特別会計)	11,265,596	公共下水道事業 (特別会計)	1,008,178
後期高齢者医療 (特別会計)	1,328,468	下水道(特別会計) (輝北農業集落排水)	71,663
<b>合計</b>	<b>78,861,886</b>		

### 人事議案

副市長就任 宮地 修平氏 (S51年生)【琉球大学農学部卒】  
前農林水産省 生産局農産部農業環境対策課  
退任 今崎 裕一氏は農林水産省へ(長い間お世話になりました)  
(新任地での活躍を！)

永年にわたり、地方自治に携わったとして総務大臣・全国市議会議長より感謝状・表彰状を受賞しました。

昭和58年に鹿屋市議会議員に初当選以来、「心ぬくもり「環境」安心・安全 「未来」夢・希望を基本理念として地域発展や市民福祉向上並びに産業振興及び教育環境の整備などに取組んで参りました。

このことは、議員として「当然の使命」であると考えて共に、多くの市民の温かいご指導とご支援によるものと考えています。

改めて、深く感謝申し上げます。  
今後も「初心を忘れず」市民目線と現場主義の基に、市民の声を反映し、行動して参りますので、尚一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

